

提案を求める事項及び採点基準

※「区分」に“○”を記載している項目については、本機構が重要と考える提案項目であるため必ず回答すること。

分類	項番	区分	提案を求める事項	採点基準	配点
1. 基本的事項に 関すること	1		提案する電子カルテシステムの開発コンセプトについて記述すること。	○開発コンセプトは、基本仕様書「Ⅰ. 2. 目的」に記載されている内容及び医療現場の実態に即したもののか。 ○今後の病院を取り巻く医療・介護機能再編等の動向に沿ったものになっているか。	130
	2	○	システム更新・導入により新たに追加される機能や改善される機能について記述すること。	○システム更新・導入により新たに追加される機能や改善される機能の内容と効果はどのようなものか。 ○病院スタッフの業務改善に関すること、医療の質の向上に関すること、及び経営状況の把握・改善に関することについてその内容と効果を記述すること。	150
	3	○	ユーザの意見を反映したパッケージシステムのバージョンアップへの対応について記述すること。	○ユーザの意見を反映したバージョンアップを実施しているか。 ○バージョンアップの実績が豊富か。 過去3か年(R5年度からR7年度)について、年度別・機能別に件数と内容を記述すること。 ○バージョンアップに当たり幅広くユーザからの意見を聞くための取り組みがあるか。 バージョンアップに対するユーザの意見を聞くための取り組み(方法や時期、頻度等)を記述すること。 また、システムを利用する他病院を交えた取り組みについても記述すること。	150
	4		業務継続計画(BCP)等、災害等非常時、サイバーセキュリティに関する対応を記述すること。	○業務継続計画等の災害等非常時の計画は策定されているか。 ○災害等非常時におけるバックアップシステムによる迅速なデータ復旧や病院のシステム正常化に向けた病院へのサポート体制が確立されているか。 ○大規模災害などの非常時に備えたバックアップ方式、データの保管について記述があるか。 ○サイバー攻撃に備えた対策が記述されているか。 ○システムの不正利用への対策(権限管理手順の明確化、ログ管理)が記述されているか。 ○リモート保守のセキュリティ対策、ベンダー管理について記述があるか。	180
	5		国の医療DXに対応した内容を記述すること。	○国の進める医療DX(診療情報の標準化等)に対応した記述になっているか。 ○「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等の各種ガイドラインに対応しているか。	120
2. システム構築 に関すること	6	○	システムの構築体制について記述すること。	○システム構築に必要な人員が配置され、業務分担は適切か。 プロジェクトマネージャー、システムエンジニア等従事者の専任・兼任、人数・人役、資格、経験・実績等の状況を記述すること。	150
	7	○	システム構築のスケジュール及び運用管理手法について記述すること。	○システム構築時の運用管理手法(進捗管理、品質管理及び課題管理等の管理手法)は適切に設定されているか。 ○課題発生時のエスカレーションルールは記述されているか。 ○スケジュールには重要な時点(マイルストーン)が明確に記述されているか。 ○各病院のスケジュールと全体スケジュールとの調整は取れているか。 ○本機構への進捗状況の報告は適切か。 ○スケジュールの進捗が遅れた場合の対策は示されているか。	150
	8	○	システム構築等の進め方について記述すること。	○システム構築に当たって、各病院とどのような協議、調整を行うのか。 各病院と協議・調整すべき項目と方法について記述すること。 市立3病院に共通する事項や市立3病院全体の進捗状況等を協議・調整するための具体的な進め方について記述すること。	100
	9		接続する部門システム業者とのシステム構築等の進め方について記述すること。	○システム構築に当たって、各病院の部門システム業者とどのような協議・調整を行うのか。 必要と考えられる協議・調整項目及び協議・調整方法を記述すること。 ○部門システム業者や病院スタッフとの迅速で円滑な情報伝達、共有化が図られるか。 情報の伝達や共有化を行うための具体的な方法と提案者の役割について記述すること。	150
	10		システム構築における作業工数や作業項目について記述すること。 また、作業項目については、病院との作業分担についても記述すること。	○システム別に作業工数と作業項目が明らかになっているか。 ○作業項目については病院との作業分担が適切であり、病院の作業負担を軽減する提案となっているか。	120

分類	項番	区分	提案を求める事項	採点基準	配点
3. システム要件 に関すること	11	○	システムの拡張性要件について記述すること。	○システム拡張が必要となった場合、ハードウェアの増設、ソフトウェアの設定変更等の単純なシステム変更により対応可能な構成となっているか。 ○運用期間5年を超えても、ハード・ソフトのサポート保証を継続できるか。 ○端末のOSバージョンアップの対応、方法はどのようなものか。また、OSバージョンアップは運用・保守費用の中で対応できるか。	250
	12	○	システムの信頼性要件について記述すること。	○システムダウン等のシステム障害、レスポンス悪化の適切な予防策が講じられているか。 ○システムの監視方法は適切か。 ○レスポンスの悪化に対応するシステム改善が運用・保守業務の中で対応できるか。	120
	13		電子カルテシステムと接続連携する部門システムとのデータ送受信の運用監視について記述すること。	○部門システムとのデータ送受信の運用監視を相互に行うことができるか。	60
	14	○	システム構成について記述すること。	○提案するシステムのハードウェアについて、構成や性能が適正か。 提案するシステムのハードウェア構成、製品名、詳細仕様及び台数を記述すること。 ○要求仕様書に示した性能以上のハードウェア、ネットワーク機器、周辺機器の整備の提案があるか。 提案により、どの部分の性能が向上し、システム全体にどのような効果があるのかについても記述すること。	140
4. 操作性に関する こと	15	○	システムの使いやすさについて記述すること。	○ユーザ毎で画面レイアウトをどの程度まで設定できるか。 ○ユーザ毎で必要とするツールやオーダ画面等の起動ボタンをどの程度まで集約できるか。 ○電子カルテシステムに入力したデータの二次利用がユーザ側でどの程度可能か。	140
	16		PDA端末とスマートデバイスの利用について記述すること。	○PDA端末とスマートデバイスはどのような利用が可能か。 ○PDA端末又はスマートデバイスによるカルテ入力やオーダ入力ができるか。	60
5. 情報共有化に 関すること	17	○	チーム医療の支援に向けた電子カルテシステムの考え方について記述すること。	○チーム医療を進めるうえで、電子カルテシステムの重要性が理解されているか。 ○課題別のチーム医療に対応した、効率的・効果的な診療、看護の提案があるか。	90
	18		関連医師に対する検査結果等の伝達方法について記述すること。	○電子カルテシステム上で、患者の検査結果等を関連医師が見落とさないための工夫がなされているか。 電子カルテの画面の活用等、具体的な対応策を記述すること。また、知らせるタイミングや確認方法についても記述すること。	210
	19	○	医療スタッフが共有すべき患者情報の伝達方法について記述すること。	○診療行為を行ううえで共有すべき患者情報(禁忌、アレルギー情報及び治療方針等)を医療スタッフが見落とさないための工夫がなされているか。 電子カルテの画面の活用等、具体的な対応策を記述すること。 特に患者の医療リスクになる重要な禁忌やアレルギー情報に気づくような工夫がなされているか。	100
6. 市立病院の連 携に関するこ と	20	○	市立病院間の連携について記述すること。	○市立病院間で必要とする情報が適正に伝達・共有できるか。 情報伝達、共有することが必要な医療情報及びその具体的な方法を記述すること。 ○今回のシステム更新の対象外としているリハビリテーション病院との連携について具体的に提案しているか。	150
	21	○	病院経営とシステム利用について記述すること。	○病院経営の分析、改善には、どのようなデータの活用が重要と考えているか。 ○データの分析、活用がより容易に行える提案がなされているか。 ○経営分析等のためのデータ処理、コンサルティングを継続して運用・保守業務の範囲内で実施できるか。	130
7. 地域医療機関 との連携に関 すること	22	○	広島県医師会運営のひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)との接続連携(参加)について記述すること。	○広島県医師会運営のひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)との接続連携をスムーズに行うことができるシステムとなっているか。 ○接続連携に必要な設定作業は、運用・保守業務の中に含まれているか。	90

分類	項番	区分	提案を求める事項	採点基準	配点
	23	○	今回提案する地域連携システムを利用した地域医療機関との連携について記述すること。	○今回提案する地域連携システムを利用して地域医療機関とスムーズに連携するための提案があるか。 地域医療機関とスムーズに連携するための運用方法等について記述すること。 また、地域連携システムを利用した地域連携クリニカルパスの活用方法や活用範囲を記述すること。 ○地域連携クリニカルパスに患者の状態(アウトカム、アセスメント、バリエーション等)の管理機能があるか。 ○患者診療情報等の共有に対するプライバシー保護やセキュリティは適正か。 具体的なプライバシー保護やセキュリティ機能を記述すること。 ○地域医療機関と連携するために必要な地域連携システムの設定作業は運用・保守業務の中に含まれているか。	180
8. システム移行に関すること	24	○	ユーザが行うシステム移行作業への支援について記述すること。	○マスタやテンプレート及び文書類等の作成に係る病院側の作業負担を軽減する方法が提案されているか。 現行システムのマスタ情報の活用や、標準マスタの提供範囲等について記述すること。 ○市立3病院のマスタ作成の共通化について提案されているか。 ○マスタの共通化に係る作業負担軽減の提案がされているか。	160
	25	○	操作研修について記述すること。	○システム稼働前の職員に対して職種に応じた必要な操作研修が計画されているか。 実施体制、スケジュール等の研修計画、操作説明書・マニュアルの作成等について記述すること。 ○習熟度に対する評価及びフォロー教育が実施されるか。	140
	26	○	リハーサルについて記述すること。	○リハーサルの実施は適正か。 リハーサルの実施回数、内容及び支援体制を記述すること。 ○リハーサル実施後に、病院との確認と協議の場が設けられているか。 ○リハーサルで判明した問題や課題の解決に向けた対応は適正か。	120
	27		円滑なシステム稼働切替について記述すること。	○システム稼働切替時の電子カルテシステム停止予測時間は極力抑えたものになっているか。 500床以上の病院において、これまで構築した電子カルテシステム稼働切替時の停止時間と停止時間短縮の方策を記述すること。 また、今までの実績を踏まえた、システム稼働切替時における電子カルテシステム停止予測時間を記述すること。	140
9. システム統合に関すること	28		電子カルテ及び部門システムの統合化に関して記述すること。	○規模や機能に応じた統合、システム投資について提案がされているか。 ○電子カルテ・部門システムの相互運用性が確保されているか。	120
	29		コスト削減について記述をすること	○初期導入費用、データ移行費用、保守費用、運用管理費用等のライフサイクルコストは適正であるか。また、削減についての記述があるか。	120
10. 運用・保守に関すること	30	○	運用・保守体制について記述すること。	○円滑なシステム運用・保守を行うための体制が記述されているか。 複数の担当者の配置やローテーション配置などについて具体的に記述すること。 ○運用・保守業務の増加に応じて運用・保守の担当者を増員することが示されているか。 ○システム利用開始から当分の間(3ヶ月以上を想定)、運用・保守の担当者を増員する計画が示されているか。	130
	31	○	障害発生時の対応について記述すること。	○障害発生時に速やかに障害復旧を行うための対応方法(調査・復旧・報告・恒久対策までの手順及び要員派遣を含めた障害復旧体制)が示されているか。 ○上記体制は24時間365日体制か。 ○障害内容別の復旧目標時間は示されているか。 ○ハードウェアの保守管理拠点が60分以内の場所にあり、迅速に修理・交換を行うことが可能であるか。 ○運用・保守業務対象外システム(電子カルテシステムと接続連携する部門システム)側の障害発生時においても、積極的に障害復旧対応に協力することができるか。	240
	32		病院からのシステム改善要望について、システム稼働後の運用・保守業務での対応範囲を記述すること。	○運用・保守業務の対応範囲内で、表示項目の並び替えや簡単なパラメータ等の設定変更作業が対応できるか。 ○運用・保守業務の範囲内で、システム改修作業が対応できるか。 運用・保守業務の対応範囲内で対応できるシステム改修内容を記述すること。	160

分類	項番	区分	提案を求める事項	採点基準	配点
	33		運用のサービスレベルの確保について記述すること。	○運用・保守業務の中で安定した運用を確保するためのSLAに関して、以下について提案されているか。 ・SLAに応じた定期的な分析と評価 ・SLAを維持するために必要となる機器の更新及び予防交換 ・SLAを維持するために必要となるソフトウェアのバージョンアップ ・SLAを維持するために必要となるシステム最適化(データベースの再編成やリソースの増強等)	200
11. 提案者に関する こと	34	○	電子カルテを中心とした医療情報システムの構築と運用・保守の実績について記述すること。	○500床以上の病院の電子カルテを中心とした医療情報システムの構築と運用・保守の実績があるか。 病院名、所在地、病床数、構築した電子カルテシステムのパッケージ名、及び稼動年月日を記述すること。 ○500床以上の病院を含む複数のグループ病院に、同時に電子カルテを中心とした医療情報システムを構築した実績があるか。	90
	35		遠隔地バックアップシステムの導入実績について記述すること。	○500床以上の複数の病院において、電子カルテシステム及び医事会計システムのデータを外部のデータセンターにオンラインでバックアップデータを転送する遠隔地バックアップシステムを導入した実績があるか。	60
12. 社会性に関する こと	36		競争入札参加申請日(以下「申請日」という。)の直前の6月1日現在における、障害者雇用率を記述すること。ただし、障害者雇用率の計算については、報告義務のない場合も含め、すべて障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号。以下「障害者雇用促進法」という。)の規定に基づく計算による。	○申請日の直前の6月1日現在において、障害者雇用率が一定以上の割合であるか。	50
	37		ISO14001又はISO14005の取得状況とエコアクション21の認証・登録状況について記述すること。	○本機構と契約を締結する権限を有している事業所が、ISO14001又はISO14005を取得しているか又はエコアクション21に認証・登録されているか。	50
	38		申請日において次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第12条第4項の規定に基づく「一般事業主行動計画」を策定しているか(労働者100人以下の事業所に限る。)、次世代育成支援対策推進法第13条による認定を受けているか、申請日前5年以内に内閣府が行う女性のチャレンジ支援策に基づく女性のチャレンジ賞、女性のチャレンジ支援賞又は女性のチャレンジ賞特別部門賞の表彰を受けているかについて記述すること。 ※ 申請者の代表者がこれらの賞を受賞している場合を含む。	○申請日において次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第12条第4項の規定に基づく「一般事業主行動計画」を策定しているか(労働者100人以下の事業所に限る。))又は次世代育成支援対策推進法第13条による認定を受けているか又は申請日前5年以内に内閣府が行う女性のチャレンジ支援策に基づく女性のチャレンジ賞、女性のチャレンジ支援賞又は女性のチャレンジ賞特別部門賞の表彰を受けているか。 ※ 申請者の代表者がこれらの賞を受賞している場合を含む。	50
13. その他追加提案事項	39		他病院での実績等を踏まえ、要求仕様書記載以外の本業務の実施に当たっての追加提案事項がある場合は記述すること。	本業務の実施に当たっての追加提案事項が具体的に示されているか。	50
計					5000